


環境配慮措置	カテゴリー	05：自然環境保全	
	項目	c. 敷地内舗装の配慮	
	概要	●敷地内は必要最小限の舗装または透水性の高い舗装としており、積極的に植栽することで、照り返しによる気温上昇の抑制、雨水の地下還元を配慮した事業内容となっている。	
環境配慮の目的・方針	【自然環境】	森林環境を悪化させない利活用手法の検討	
	【 】		
	【 】		
	【 】		
	【 】		
該当箇所・チェック対象	チェック状況・写真	評価	
		実施状況・コメント	評価
植栽の状況		<p>記念植樹以外の新たな植栽は行っていない。</p> <p>工事時の移植木はおおむね良好に生長している。</p> <p>一部自然学習歩道から移植した植栽は仮移植のダメージが大きく、生育状況が悪いものが見られるため補植等で対応が必要である。</p>	◎ 効果あり
新たな舗装の有無	—	山麓に新たな舗装をしたが、環境に配慮した、計画時と同じ舗装であり、適正な舗装構成であると言える。	◎ 効果あり